

1. 会社概要

- (1) 会社名：東ソー・スペシャリティマテリアル株式会社
- (2) 代表者：代表取締役社長 伊藤 謙一
- (3) 所在地：〒990-2338 山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番6号
- (4) 電話番号：023-689-0150
- (5) 事業内容：スパッタリングターゲット製造、セラミックス製品 など



2. 実習について

- (1) 期間：令和7年 7月16日～7月30日（10日間）
- (2) 参加者：山形県立寒河江工業高等学校 メカニカルエンジニア科、ロボットエンジニア科、ITエンジニア科
2年 3名
- (3) 実習内容：成形作業、貼り合わせ作業、検査・洗浄作業、ガラス板の作成、成膜作業、金属溶解の製造、溶解準備作業、金属溶解作業見学、金属分析サンプル作製、SEMの使用、射出成型製造、工務（装置メンテ等）関連業務、安全関連業務 など

3. 感想

- 社会に出て生きていくことが大変なことに気づかされました。
実際に電子部品のはんだ付けを体験した際には、わずかなズレが、製品の不良につながることや、加熱のタイミングや温度管理が重要であることを学びました。
細かい部分まで丁寧にする、製造の現場では、「正確さ」と「集中力」の大切さを肌で感じました。
10日間を通して、実際の製造工程や製品に触れることで、社会的役割や社員の技術力を深く知ることができました。
- インターンシップを通して働くということと自分の不得意なことに気づくことができました。
マスキング作業は何度もテープをつけたり外したり貼るのが難しかったです。
金属溶解の体験では材料を必要な分をはかるのが難しかったです。
SEMの体験は普段見ることのできないところまで見る事ができていい体験になりました。
10日間を通して、メモをわかりやすくまとめたり、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。
- ターゲット材の製造作業を体験してみて、品質管理や安全に配慮しながら作業を行う大切さを学ぶことができました。特に印象に残った作業は、はんだ塗布作業です。はんだ塗布作業では、はんだを正しく使うための工夫や、安全面への配慮など、学校では学べない貴重な知識を得ることができました。
セラミックの製造作業を体験してみて、製造には射出成型機という機械を使っているが、製品一つひとつは顕微鏡を使い、人の目でしっかり見られていて確認作業の大切さがわかりました。
10日間を通して、社会人になるためにはただ作業をするだけでなく、その仕事に意味を見出し、人に伝えられる力や責任感が重要だと感じました。

